

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2015. 1. 13

下水道機構の『新技術情報』 第172号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

1月11日は鏡開きでしたね。ここでお餅レシピをひとつ♪春巻きの皮でお餅とチェダーチーズとシソの葉を包んでオリーブオイルで焼くだけ！おせちに飽きたら、超かんたんお餅春巻きはいかがですか！みなさんお勧めのお餅レシピも教えてください♪
それでは機構メールマガジン『新技術情報』第172号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご利用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

・1月の技術サロンは秦野市政策部公共施設再配置推進課課長(兼)課長補佐(兼)教育部教育総務課複合施設計画担当主幹 志村(地方自治体公民連携研究財団客員研究員)氏をお迎えして開催しました

■機構の動き

・今週は、行事はありません

■Tea Break

・お賽銭(研究第一部長 三宮 武さんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

・本日はお休みします m()m

■国からの情報

・1/9付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。

●1月の技術サロンは秦野市政策部公共施設再配置推進課課長(兼)課長補佐(兼)教育部教育総務課複合施設計画担当主幹 志村(地方自治体公民連携研究財団客員研究員)氏をお迎えして開催しました！

今回のテーマは、「秦野市公共施設更新問題への挑戦ー未来につなぐ市民力と職員力のたすきー」でした。多くの自治体が、下水道施設を含む「公共施設」を都市化や経済成長、景気対策、合併特例債などにより集中的に整備してきましたが、近い将来、これらの「公共施設」を一斉に更新する時期がやってきます。そして、これに合わせてように高齢化と人口減少が進んで財政状況が悪化し、現状のままでは、必要性の高い公共施設まで良好な状態で保てなくなる恐れがあります。そのことに早くから着目し、秦野市が全国に先駆けて「公共施設白書」を作成するなど、この問題に取り組んできました。秦野市での取り組み状況を中心に、地方自治体公民連携研究財団客員研究員としての研究成果も含めた全国の自治体の状況についてもご講演いただきました。多くの自治体がこの取り組みに注目しており、視察や講師で大変お忙しい中講演いただきました。

さて、次回のサロンは、2月12日（木）17:00から18:00。ゲストには国土交通省水管理・国土保全局下水道部町村下水道対策官 那須基 氏をお迎えして「平成27年度下水道事業予算について」（仮題）」をテーマに開催します。多数の皆様のご参加をお待ちしております！お申し込みは機構ホームページから→
<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○。

機構の動き （機構の行事予定です）

。○。

○平成26年1月29日（木） 9:00～17:30

行 事：平成26年度第2回審査証明委員会

場 所：機構8階 特別会議室

案 件：平成26年度 建設技術審査証明（下水道技術）の各依頼技術の報告書の
審議、および質疑応答、答申

○平成26年2月12日（木） 17:00～18:00

行 事：第334回技術サロン

場 所：機構8階 中会議室

ゲスト：国土交通省水管理・国土保全局下水道部町村下水道対策官 那須基 氏

テーマ：「平成27年度下水道事業予算について」（仮題）」

※参加お申し込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。○。

●お賽銭（研究第一部長 三宮 武さんからの投稿です）

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

皆さん、初詣には行かれましたか。私は浅草寺に参りました。三が日を過ぎた1月4

- 下水道未普及解消のアクションプラン策定に向けた情報交換会を開催しました

【国土交通省】

- 日本下水道施設業協会 第12回 公開講座の案内（CPD対象予定）

【（一社）日本下水道施設業協会】

○国土交通省災害・防災情報 (<http://www.mlit.go.jp/saigai/index.html>)

- =====
- 下水道未普及解消のアクションプラン策定に向けた情報交換会を開催しました

【国土交通省】

昨年12月18日、国土交通省下水道部主催のもと、国土技術政策総合研究所、各地方整備局、日本下水道事業団、全国の地方公共団体など約150名が参加し、情報交換会を開催しました。国土交通省からは具体的な策定手法に係る情報提供、モデル計画を検討している都市からは検討状況に係る情報提供があり、活発な意見交換が交わされました。詳細は下水道事業課（担当：藤井補佐、堤係長、飯島研修員）まで。

- 日本下水道施設業協会 第12回 公開講座の案内（CPD対象予定）

【（一社）日本下水道施設業協会】

来年度の下水道予算と改正品確法の運用について、国土交通省から講師をお招きし、お話を伺います。ふるってご参加下さい。

・日時： 2015年2月3日（火曜日）14:30～17:00

・場所： 日本下水道施設業協会 会議室

東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館2階

・テーマ・講師：

平成27年度下水道事業予算について

国土交通省 下水道部 下水道事業課長

増田隆司氏

改正品確法とその運用等について

国土交通省 技術調査課 建設システム管理企画室長 高村裕平氏

・費用： 無料

・参加申込：日本下水道施設業協会のHP新着情報をご覧の上、1月22日（金）までにお申込み下さい。（申し込み多数の場合は、期日前でも締切ることがあります。）

- =====
- ◆関電VS大ガス 都市に埋蔵「下水エネルギー」発掘 自由化備え〈1/6 産経ニュース〉

<http://www.sankei.com/west/news/150106/wst1501060063-n1.html>

- ◆NHK「あさイチ」「マンホール女子」〈1/7 NHK〉

<http://www1.nhk.or.jp/asaichi/2015/01/07/01.html>

- ◆名駅周辺の地下50メートルに貯水池 市内最深、豪雨対策〈1/1 中日新聞〉

<http://www.chunichi.co.jp/article/front/list/CK2015010102000053.html>

◆CO₂ゼロで水素製造へ 燃料電池車向け〈1/1 東京新聞〉

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/economics/news/CK2015010102000118.html>

◆人工衛星だいち：データで下水調査 アフリカの衛生対策に〈1/4 毎日新聞〉

<http://mainichi.jp/select/news/20150104k0000e040155000c.html>

◆浸透圧発電 初の実用化 淡水化施設の塩分濃度差活用 福岡市で年内稼働 長崎の企業、世界市場へ〈1/5 西日本新聞〉

<http://www.nishinippon.co.jp/wordbox/word/7983/10886>

◆えっ、京都の地下30メートルに“宇宙船”！？ その正体は…〈1/5 産経ニュース〉

<http://www.sankei.com/west/news/150105/wst1501050046-n1.html>

◆行政・政治：白樺湖下水道 諏訪湖流域に来春編入〈1/5 長野日報〉

<http://www.nagano-np.co.jp/modules/news/article.php?storyid=33172>

◆下水ガス発電4月稼働 松山市の処理場〈1/5 愛媛新聞〉

<http://www.ehime-np.co.jp/news/local/20150105/news20150105673.html>

◆洞庭湖流域で環境保全型農業普及へ 滋賀県と中国・湖南省連携〈1/5 京都新聞〉

<http://www.kyoto-np.co.jp/politics/article/2015010500013>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20141031/>

○ニュースレタークイズの答えはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20141031/seikai7.pdf>
